

NSW Health

# 予防接種は適切な時期に

赤ちゃんを最大限に  
守りましょう



## 予防接種の記録保管

保育園や幼稚園、学校の入学手続きにはお子さんの予防接種記録を提出する必要があります。14歳未満のお子さんのAIR(豪予防接種登録簿)の予防接種歴明細表(Immunisation History Statement)は、保護者の方なら次の方法でいつでも求めることができます。

- [myGov my.gov.au](https://myGov.my.gov.au)でメディケアのオンラインアカウントを利用する
- [humanservices.gov.au/individuals/subjects/express-plus-mobile-apps](https://humanservices.gov.au/individuals/subjects/express-plus-mobile-apps)でメディケア・エクスプレスプラスというアプリを利用する
- AIRの一般向けお問い合わせ番号1800 653 809に電話する

## 予防接種はどこで受けられるでしょう?

予防接種は次のところで受けられます:

- GP (一般医)
- 一部の地元カウンスル (地方自治体)
- 一部のコミュニティヘルスセンター

お住まいの地域で利用できるサービスについて確認されたい方は1300066055に電話し、最寄りの公衆衛生局(Public Health Unit)にお問い合わせください。

## 予防接種の予定日を 設定しておきましょう

遅れずに予防接種を受けることが  
お子さんを深刻な感染症から  
守る一番の方法です



お子さんの予防接種がいつか  
確認しておきましょう

[health.nsw.gov.au/vaccinate](https://health.nsw.gov.au/vaccinate)



ご存知でしたか  
NSW州の子供の94%  
以上が必要な予防接種  
をすべて受けています



## 予防接種は遅れずに

ワクチンは安全で、予防接種スケジュールに沿って遅れずに受けさせれば、お子さんを守る一番の方法です。

各ワクチンの接種時期は、感染症がもっとも生じやすい、または重症化しやすい年齢でお子さんを守ることができるように感染症専門家が注意深く選んだものです。

鼻水や軽度の風邪で予防接種を遅らせないでください。かかりつけ医や看護師に相談して、お子さんをなるべく早く守るようにしましょう。

## なぜ予防接種を受けるのですしょう？

- 予防接種はお子さんを深刻な感染症から守るもっとも有効な手段です。
- 予防接種はお子さんだけでなく、みなさんの地域社会を守ることになります。
- 予防接種はワクチンで予防できる深刻な感染症の抑制に有効です。

## いつ予防接種を受けさせればいいでしょう？

NSW州の予防接種スケジュールでは次の各年齢で予防接種を受けさせることを奨励しています：

- 出生時
- 6 週間
- 4 か月
- 6 か月
- 12 か月
- 18 か月
- 4 歳

予防接種は遅れずにお子さんに受けさせることが大切ですので、早めにかかりつけ医や看護師に予約を入れ、予防接種日を設定しておきましょう。

## ワクチン接種後

ワクチンは安全で、お子さんを深刻な感染症から守る効果があります。

ワクチン接種後、お子さんに軽度の副反応が出ることもあり、予防注射を受けた所が痛くなったり、腫れたり、赤くなったりする場合があります。

生じる可能性のある副反応が心配な方は、かかりつけ医や看護師にご相談ください。

## お子さんに無料のインフルエンザワクチン

インフルエンザのワクチンは重度のインフルエンザからお子さんを守る一番の方法です。6か月以上5歳未満のお子さんには無料で提供されます。もっとも多いインフルエンザ株からお子さんを守るためには、インフルエンザのワクチンは毎年受ける必要があります。このワクチンはみなさんが予防接種をいつも受ける医師などから受けられます。

詳しい情報は [health.nsw.gov.au/flu](https://health.nsw.gov.au/flu)

### お子さんを安全に守りましょう 予防接種は適切な時期に

